

●ヤマトサンショウオ池土砂流入について地主の瀬戸さんと現場立会 1月14日 午前10時

地主 瀬戸さん 里山の会 太田 大村 金田 森島が立ち会いました。

上の池では、2021年ヤマトサンショウオの卵囊7対を発見した、下の池では、卵囊27対を発見した。この度、大池の下流地の田圃にヤマトサンショウオ生育池付近の土砂が流入しているのでその土砂を取りのぞく対策を実行したい（瀬戸）□以前は上の池からの流出する水路が存在していたが、それが埋まってしまい、新しい排水路ができて土砂が流出し、深さ1.3Mのくぼ地ができている。そのためこの都度、旧水路を復旧して土砂防止の対策を実施する（瀬戸）結果下の池への流入水がストップして、池が枯渇することになる。その結果、優れたヤマトサンショウオの生育池が干しあがり、京都府が指定する「絶滅の恐れのある生物の生育地」が消滅することになると思われる。期待の重大さから、京都府環境課の小田嶋係員に報告をしておいた。また京田辺市環境課へも報告はしておくべきである。

● 里山の会道路拡張のため解体決定 仮移設事務所たてられる 1月13日

昨年5月に道路拡張のために用地買収の話が持ち上がり、里山の会の事務所解体が具体的に進み始めて1月13日に仮移転先のプレハブ事務所が建設されました。朝8時に業者が入り、組み立てが始まったのが10時頃で、完了したのが15時で、二階への階段も設置され、簡易便所や小型物入れ小屋等もすっかり出来上がってしまいました。2月中旬ごろには電気、水道、下水などの諸設備が整って移転になってきます。できれば安価な事務所をご推薦下さい

● 久御山町ゆうホールで地域説明会開催 1月16日

スタッフ9人 入場者23人の来場者がありました。この日は朝から冷え込みがきつく、屋外では氷が張っていました。このゆうホールには京田辺市職員で中央公民館職員であった中川さんが勤務されていました。ここ久御山

町の東一口出身で、プロ野球で活躍されていた片岡選手の出身地でありますので、この日は少年野球チームの集いがあった賑やかでした。ホールに入ると1300年前に作られた木津川の中に作られていた井戸の模型があった人目を引いていました。



④ 木津川河床遺跡



● 里山農園内の道路に砂利補強 軽トラ3杯分 1月15、18日 大村吉村森島金田有田

昨年末に吉村さんの尽力で新しい小屋が完成しましたが、その前の駐車に使っている場所がぬかるんで車がスリップすることが度々でした。この度ある土建業者さんから砂利の提供が可能とのお話があったので、砂利を軽トラック2台分運び込んでその補強をしました。

● 先週11日火曜日は井手町役場訪問と地域周り、同志社の中里さんが来訪、水曜日12日は事務局会議、午後は除草ずみの草の運び出し作業、木曜日13日は午前7時30分から石材木材の納入が終日続き、週刊ニュース発行のパソコン教室でした。そして14日金曜日は10時からヤマトサンショウオ生育池の土砂流出現場の立ち合い、午後は地域説明会の出展準備、15日の土曜日は午前中農園への砂利運搬で、日曜日の16日は久御山町での地域説明会が終日ありました。この一週間は一度も休日がない日の連続で里山の会の事業推進に働いた七日間でした。

中聖牛の組立ては2月26日27日に予定をしています。昨年は12月に実行しましたが21年度は設置確定場所が二転三転しましたので、皆さんにはご迷惑をおかけすることになりました。やっと1月23日に設置場所に杭打ちが決まり、13日には、必要資材の運び込みがされました。そして2月のすべの土日と祝日に中聖牛の組立てを実施することになりました。当初組立の初日予定を1月30日にしておりましたが、これも地域説明会の会場の確定上、予定変更となり29日を初日にせざるを得なくなりました。変更続きでご迷惑の掛けっぱなしになりますがどうぞよろしくお願いいたします。さて肝心の木材や石材は業者の方々のご協力があって無事に運び込みが完了しています。納品場所は木津川20km地点の砂州ですので、石材は10トンダンプでの運びこみとなります。それで左岸に設けられている京都府のサイクリングロードを横断しなくてはなりませんので、自転車道の補強が必要となり、京都府土木事務所の許可や指示に従っての補強工事が追加要件となりました。今回はこれまでとは違った予想以上の手間がかかる取組となりました。しかし現在重量物の運び込みができましたので、昨年の経験を生かしていけば、多少の苦労はあるでしょうが、自力で二回目の挑戦ですから完成できると思っています。関心のある皆様のご参加を期待しています。



残っている集草作業で新型ハンマーモア威力が発揮されて小谷地区の刈草がきれいに集草されました。その運び出し作業が夕方6時までかかりましたが業務管理地40ヵ所で最大の作業面積地での取組が約4時間で完了出来ました。新年松の内での大作業、太陽が沈んで暗くなって足元の安全確認も危うい時間まで頑張ってくださいました。特に寒い季節、屋外での暗くなっての作業を大変頑張ってくださいました。

太田 森島 大村 播川 吉村 金田さん ご苦労様でした。

井手町での復活を目指す講演会

定川水系：2007年まで11回、11回の復活させる可能性は非常に大きい。
生息していたフンドガ井手町で11回、11回イシヤドブアザガが生息している。
そのままだっていい11回、11回（卵を産みつた後の無い冬を越す）。
元大府立高校教師の講演（2019年、2020年）
イサセンバ研究所小川力也氏11回、11回石田せと。



1月22日(土)午後1時～15時30分

京都府動物学振興会館、
京都府環境部井手町事務所（駐車場有）、
JR京阪線西玉水駅から車いす徒歩15分。

淀川城北フンド群（大阪）での復活の取組み

□□□□□□□□□□フンド群の生態について、
□□□□□□□□□□どうして復活させるか□□、
講師の大坂イサネット事務局長。□□
□□□□□□□□□□環境省希少野生動植物種保存推進員、
□□□□□□□□□□淀川水系イサセンバ保全市民ネットワーク（イサセンネット）事務局長。

河合典彦□氏

奈良県伊賀市国造近畿地方警察署富良野川口駅前所長、
主幹□□□□□NPOやましろ里山の家、
事務所□□□□□伊賀市富良野川口15□□0774-64-1183。

自然を大切にする時間を輪を大きくする。NPO 里山の会の活動を紹介。

地域説明会を開きます□ご参集ください。

展示内容

天然記念物（魚）イタセンバラの復元を目指す。
みんなで（川昔講） □中聖川の設置
国蝶（蝶）オオムラサキの観察会。
木津川の（植物）レッドデータ指定。
木津川はどんな川と山城地域の歴史。

日時□□□□□□□□場所

1月18日久御山町□□Uホール
1月22日井手町□□勤労者福祉センター
1月30日宇治原町□□町民体育館
2月5日 精華町□□関西文化学術研究都市
□□□□□□□□ 記念公園展示場
2月8日には柏葉町宝蔵寺岡崎山神社で予定しています。

いずれも午前10時から15時まで。

山辺史鑑

わがのやすし
山城の歴史と木津川

著者 関人、平林大祐、高橋孝徳

竹蛇龍製作記録

著者 山口和雄

2017年刊 | 96頁 | B5判 | 定価 1,200円

この本は京楽作の京響プロジェクト受託金を受けて発行されています。

主催 □□ NPO・やましろ里山の会。

事務所 家田市 田辺深田 15号 電話 0774-64-4183。

京都府立総合資料館蔵書

京都府立総合資料館蔵書